

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学： ヴェネツィア大学
留学先での所属学部・研究科： Humanities
留学先での在籍身分： Exchange Student
留学期間： 2015 年 9 月～ 2016 年 6 月
神戸大学での所属学部・研究科： 文学部
学年（出発時）： 3年
本報告書記入日： 2016 年 7 月 10 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9 月 7 日

学年終了月日： 6 月 18 日

学期：

① 9 月 14 日～ 1 月 30 日

② 2 月 1 日～ 6 月 18 日

③ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

④ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

1-2. 留学先大学の特長，人気のある分野等

経済、言語（特に日本語や中国語などアジアの言語）

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

留学生向けのイタリア語の授業がありました。

勉学面でのサポート：

留学生向けのイタリアの歴史や文化を学べる授業が用意されています。

精神面でのサポート：

特にありませんでした。

住居・生活面でのサポート：

Housing Officeが大学の提携寮を紹介してくれました。

課外活動のサポート：

Buddy Programというものがあり、Ca'Foscariの学生が留学生のサポートをしてくれます。渡航前に学生のリストが送られてきて、個人的に連絡を取り、わからないことを質問したりできます。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

私自身、住居について特に問題はありませんでした。しかし私が住んでいたSan Tomàという寮を含め、いくつかの寮にはキッチンがないので、引っ越す学生もかなりいました。アパートを探す場合、Facebookやその他ウェブサイトを使って部屋とルームメイトを探すことになります。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

OSSMAセット型の神戸大学生専用の保険に入りました。（損保ジャパン）

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

なし

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった住居内のインターネットへの接続の可否：接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

WINDという現地の会社のWi-fiルーターを契約し、PCとスマートフォンの両方で共有していました。月19ユーロをクレジット決済で14GB利用できます。もう少しギガ数が少ないプランもありました。

大学でのPCの使用の可否：使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学のオフィスや図書館、教室付近では大学のWi-Fiを無料で利用することができました。図書館等に備え付けのPCもありますが、私は持参したものを使用していました。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

いいえ

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

昼と夜の寒暖差が激しく、到着後1カ月ほどして風邪気味になりました。寮の暖房は建物ごと一括で管理されており、使用開始日と使用時間（夜は暖房は使えません）は決められています。また冷房はありません。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

クレジットカードとは別に、キャッシュパスポートのカードを作り、現金はそのカードを使って現地のATMで引き出していました。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

時間の感覚が日本とは大きく異なり、大変ゆったりしているので、待ち合わせ時間に誰も来ていないなどの状況が続くと、初めは少し戸惑いました。また様々な事務的な手続きにおいては、後で悲劇を生まないように、何度も念押しの確認作業が必要です。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

買い物などでコミュニケーションが必要なほか、散歩をしていると時々現地の人が声をかけてくれたりしたので、そういう時はできるだけ長く会話するようにしました。また、国内旅行でも多くの旅先のイタリア人の方にお世話になりました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

大学内ですが、日本語学科の会話の授業に参加させていただきました。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

観光地であるため治安は非常に良いと思います。しかし日中はすれ違う人々の半分が観光客であると思われるほど観光客が多く、ヴェネツィアの人々の外国人に対する印象はよくないということも聞きました。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していません。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO日本学生支援機構 , 8万 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

在ミラノ日本国総領事館 http://www.milano.it.emb-japan.go.jp/index_j.htm
そのほか、現地在住の日本人の方のブログが参考になりました。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

イタリア語の参考書、履修する授業の内容に関する本、Wi-fiルーター、電子レンジで使える料理グッズ

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（A2レベル ） 点→帰国後（B2レベル ） 点

現地で生活することで、語学力は飛躍的に伸びました。授業で文法や単語を理解することと、日々の会話の中で得た知識をアウトプットすることを同時に進められたのがよかったと思います。また、様々な国から留学している学生と交流することで、お互いの国についての知識が深められたのは貴重な経験でした。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

旅行中の大晦日に、飛行機が大雪で欠航になったこと。国際線のトランジット先だったので現地語もわからず、チケットを取り直す方法もわからず、絶望的な気分になりました。行き先を代えて翌日の飛行機のチケットを取り直しましたが、その飛行機も予定より6時間ほど遅れてようやく出発しました。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

留学前は、ヴェネツィア大学への登録や、就学ビザの取得、奨学金や保険の手続きまで、様々な場面で助けていただきました。また留学中も、ヴェネツィア大学での履修の相談などに応じていただき、大変お世話になりました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。交換留学であるという点で様々なサポートが受けられるので様々な場面で安心して対応することができます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価，5が最も高い評価，1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容，レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 4
- ・住居の「質」（広さ，料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い，満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

留学先大学： ヴェネツィア大学留学先での所属学部・研究科： Humanities留学先での在籍身分： Exchange Student留学期間： 2015 年 9 月～ 2016 年 6 月神戸大学での所属学部・研究科： 文学部学年（出発時）： 3年本報告書記入日： 2016 年 7 月 10 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	English Language	Daniela Cesiri	1.5h× 1~2	6	40	English for Tourismというテーマで、個人でパンフレットなどを作るプレゼンテーションを2回行います。プレゼンテーションを行わない場合、代わりに試験を受講することも可能です。
2	History of Venice and the Veneto	Rinaldo Cella	2.5h	6	30	留学生のための講義で、教科書を中心に講義を行った後、グループでのプレゼンテーションと試験があります。
3	Italian for foreigners B1	Michele Daloso/ Paola Bigotti	2.5h× 2~3	6	20	留学生のための授業で、宿題は多くないですが、自分の実力よりもかなり上のクラスに入ってしまったため、授業内容についていくのが大変でした。試験はそれほど難しくなかったです。
4	Cities, Global Change and Sustainable Development	Margherita Truvani, Matteo Basso, Ludovica Galeazzo	1.5h×2 +Site Visit	6	22	都市計画の基本を学び、ヴェネツィア内のアルセナーレの調査をします。またGISの使い方を学び、野外調査も行います。出席、中間テスト、グループプレゼン、最終試験で評価されます。
5	Italian Contemporary History in Films	Luca Pes	1.5h ×2	6	20	6本の映画を通して、イタリア統一以降の歴史を学びます。出席と授業内でのディスカッションへの参加、グループプレゼン、最終レポートで評価されます。
6	Italian for foreigners B2	Michele Daloso, Francesca Ardizzone	7.5h/途 中から5h	6	20	文化の違いや環境問題など様々なテーマを扱う授業 (Modulo1) と、語学学校のような授業 (Modulo2) の2つに分かれています。プレゼン、筆記試験、授業内の課題などで評価されます。
7	JAPANESE 2 MOD.2D LANGUAGE PRACTICE	Kaori Uemura	1.5h	(3)	20	日本語学科の自由会話の授業です。毎週設定されたテーマについて、現地学生と自由に会話、討論をします。日本語会話のクラスは、一定の出席時間にそって、インターンシップの単位が3単位までもらえます。
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

2学期はVenice International University(VIU)の授業も受講しました。こちらではすべての授業が英語で行われます。VIUでは月水か火木というように週に1時間半の授業が2回あります。

VIUの授業、イタリア語ともに出席確認は毎回あり、一定数以上休んでしまうとテストが受けられなくなります。多くの留学生が参加している授業なので、様々な文化的背景を持った学生と交流しながら学ぶことができます。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 13万円・住居費：（月額） 4万円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 40万円・食費：（月額） 3万円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 30万円・保険料： 13万・その他： 滞在許可証2万、Wi-fiルーター2.6万、定期1.7万（初期費用7000円+4カ月分）など合計： 110万（旅行費・交際費用等を除く）（留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

2学期は、イタリア語の授業以外は、Venice International Universityという、ヴェネツィアの中の小さな島にある大学の授業を受けに行きました。1学期は全ての授業をCa' Foscari大学で受けていたので、前期と後期で違う大学に行っているようで新鮮でした。Venice International Universityでは、全ての授業が英語で行われ、世界中の大学から様々な分野の先生が集まって講義をしているので、英語で受けられる授業を幅広い分野から選択したい学生にはぴったりだと思います。様々な国や地域から、様々な学術的背景をもって集まった学生と共に学んだり、共同でプレゼンテーションを準備したりすることは、私にとって大きな挑戦でしたが、日本やイタリアだけではない、もっと大きな枠組みで一つの課題について考える機会を多く持つようになり、大変充実した時間を過ごすことができました。

1学期から引き続き受講していたイタリア語は、会話を中心として飛躍的に伸びたと思います。後期はイタリアの文化や時事的な問題を扱う時間もあり、大変興味深かったです。留学期間の最後にイタリア語の試験(CILS)を受けることを決めていたので、これも大きな目標となりました。

授業の合間や休日は、ビエンナーレのパビリオンや展覧会、教会などをめぐりました。ヴェネツィアの町を知るためには細い路地に何度も迷い込むことが必須ですが、その良いきっかけになりました。その他数多くの美術館やイベントがあるので、街に出れば飽きることはありませんでした。勉強に疲れてしまっても、リフレッシュする機会は多かったと思います。

また、後期はイタリア国内を中心に何度か旅行に行きました。イタリアは各地域が元々は別々の国であったという歴史的背景があるため、各地で文化が大きく異なります。その違いを発見するたびに、さらにイタリアという国や各地域への関心が高まっていきました。また、英語があまり通じない場合もあるので、自分が学んだイタリア語の実践の場にもなりました。そして、旅行者が少ない場所に行ったときには、自分が日本人やアジア人だということを強く意識することになりました。

最後に、私はこの交換留学プログラムに応募することを直前まで悩んでいましたが、思い切って挑戦してよかったと思います。留学前に思い描いていた通りの一年になったかといえば、そうでない部分も、期待以上の結果が得られた部分もあります。しかし、そのイメージとの差について考えるたびに、これまでを振り返る良い機会になり、それも留学によって得られたことの一つだと思います。この一年で得たものを生かして、これからも様々なことに挑戦していきたいです。